山協ニュース

岩手県山岳協会
第 202 号
平成 29 年 11 月 30 日発行
long-distance.jp/sangaku/

伊藤ふたば選手ＩＦＳＣ世界ユース選手権大会Ｂで優勝、中島大智選手　力発揮できず

IFSC 世界ユース選手権大会は、オーストリアのインスブルックで 8 月 30 日(水)から 9 月 10 日(火)の 12 日間、世界 65 の国と地域の代表選手約 300 人が出場してボルダリング、リード、スピード、コンバインド(ボルダリング、リード、スピードの三種目)の 4 種目でユース世代の世界一を決める大会が開催された。日本からは、男子が本県の中島大智選手(盛南 2 年)をはじめ 12 名、女子は伊藤ふたば選手(松園中)ほか 7 名の 22 名が出場した。ユース A 代表の中島選手は、ボルダリング 69 位、リード 23 位、スピード 27 位、複合 22 位と実力を発揮できずほろ苦い国際大会初デビューとなった。初の世界大会での悔しい思いを忘れず、リベンジを果たしてほしい。実力者ぞろいの激戦クラスのユース B に出場した伊藤ふたば選手は、ボルダリングで 4 課題すべてを完登して第 1 位の圧勝。二日目のリードでは、伊藤も完登したが、完登者三名のため準決勝の成績での順位となり第 3 位となったが決勝での完登で納得の 3 位か。スピード競技は、日本ではまだなじみのない種目のため日本代表選手は総じて苦戦を強いられた。そんな中でも伊藤選手は、日本選手最高の 34 位。最終日に行われた複合は、一日に三種目を競うハードな種目。伊藤ふたば選手は、3 位となり表彰台に上がり本大会 3 つ目のメダルを獲得する。

今回の国際大会に同時に二人の選手を日本代表として派遣できたことは、県協会としても誇りであり、中島、伊藤両選手にとっても大きな自信となりました。来春には県営運動公園にスピード競技施設も完成します。ジュニア世代が毎回 150 人も参加する県内大会も盛況です。施設整備と合わせ、引き続き選手強化、運営に留意して本県のスポーツクライミングのレベルアップと普及に努めていく必要があります。

愛媛国体天皇杯 7 位･皇后杯 3 位

第 72 回国民体育大会山岳競技は、10 月 1 日(日)から 3 日(火)までの 3 日間、愛媛県西条市で開催されました。大会期間中は、初日を除き小雨模様でしたが予定通り熱戦が繰り広げられました。本県勢は、成年男子、少年男子、少年女子の 3 チームが出場。結果は、田中里旺(盛一)、伊藤ふたば(松園中)の少年女子が頑張り、天皇杯 7 位、皇后杯 3 位という希望郷いわて国体に続き立派な成績を収めることができました。しかし、成年男子の山内響、昆　脩太組は、本来の力を出し切れず、また、少年男子の中島大智、石嶋魁人組も、昨年の遺産の継続ならず予選敗退という悔しい結果に終わりました。圧巻は、伊藤ふたば選手。リードでは、出場選手最高到達点まで登り、完登まであと 2 から 3 手。田中里旺選手も日頃の練習の成果を如何なく発揮し、着実に高度を上げ、チームを準優勝へ引き上げる。ボルダリングでは、予選を確実にクリアし決勝へ進み。出場全選手が第一課題、第二課題と大苦戦。ポイントを取ったのは伊藤選手ほか 1 名のみ。第 3 課題、第 4 課題も難攻不落の厳しい課題設定。伊藤ふたば選手以外、ことごとくはねつけられる中、3、4 課題を見事に攻略。少年女子で初めて岩手に優勝をもたらした。昨年の少年男子のリード優勝、今年の南東北インターハイでの盛一女子の優勝、今回の国体優勝と表彰台の一番高いところで山岳岩手が会場にコールされました。

伝統の継続は容易なことではありません。今後も皆さんの協力を頂きながら、成年男女、少年男子の敗因等しっかりと総括を行い、協会一丸となって来年に向けて取り組んでいきます。引き続き支援をよろしくお願いします。なお、国体強化募金について、加盟団体をはじめ募金をお寄せ頂きました皆さんに選手、監督の皆さんから感謝の言葉が寄せられています。

種 別	選　手	監督	ボルダ	リード
成年男子	昆　脩太 ・山内　響	畠山　晃	17位	11 位
少年男子	中島大智・石嶋魁人	千葉真英	12 位	13 位
少年女子	田中里旺・伊藤ふたば	坂本康子	1位	2 位

10 月 23 日達増知事へ国体報告

平成 30 年度定期総会のお知らせ

平成 30 年度岩手県山岳協会定期総会は、平成 30 年 2 月 3 日(土)開催予定です。詳しくは、別途ご案内します。

山協関係者栄光の表彰続く

秋の深まりとともに、今年 1 年の岩手県のスポーツの成果が発表され、関連して協会の関係者の表彰が続いています。

11 月 27 日(月)盛岡市で岩手県体育協会体育功労表彰、栄光章の表彰式が挙行されました。

佐藤俊一さん県体協体育功労章受章

27 日(月)、盛岡市内のホテルでの県体協の平成 29 年度体育功労関係者の表彰式では、当協会評議員の佐藤俊一さん(高体連-悠々山の会)が(公財)岩手県体育功労表彰を授与されました。

佐藤さんは、平成 4 年から協会理事、平成 15 年からは事務局長、副理事長をそれぞれ、6 年間務められ、黙々と協会組織の運営にご尽力を頂きました。この間、監事を歴任し現在評議員です。特に、希望郷いわて国体では、総務部長として事務方の責任者として、大会成功の裏方に徹し、大会本部の的確な運営等大会成功のためご貢献頂きました。

知事から受賞伝達の佐藤俊一氏　伊藤ふたば選手、中島大智選手栄光章受章は、アジアユース、世界ユース選手権大会での活躍、また、インターハイで優勝した盛岡一高女子チーム、村山あゆ、山本花、西森優、山下ちひろの各選手。国体ボルダリング優勝の田中里旺、伊藤ふたば両選手、そして、一昨年に続きインターハイ優勝への指導力が評価されて佐藤幸久先生(盛岡一)、国体少年女子チームのモチベーション向上等選手たちの精神的支柱となった監督の坂本康子さん(県みたけ支援学校)も指導者表彰を授与されました。岩手県山岳協会のメンバーが入れ替わり立ち代わり表彰台に上がる姿には、昨年の希望郷いわて国体のレガシーが脈々と息づいている感を覚えました。

この日の国体報告会では、国体優勝 3 団体からの報告もあり、当協会の畠山晃理事長が、「合宿等を通じ、選手同士の結びつきを強めて、チームプレーを大切にすることが重要」と発表しました。

また、10 月 25 日には、**岩手日報体育賞の表彰式**があり、愛媛国体岩手チーム少年女子の田中里旺、伊藤ふたば選手と南東北インターハイ優勝の盛岡一高登山部女子が岩手日報体育賞を、伊藤ふたば選手が、スポーツクライミングジャパンカップ最年少優勝、世界ユースボルダリング B 優勝で体育賞特別賞を受賞しました。

日本・オーストリア親善登山隊派遣から 50 周年

今から 50 年前、昭和 45 年の岩手国体を 4 年後に控えた 1966 年(昭和 41 年)夏、大迫町(現花巻市)とエーデルワイスが縁で姉妹都市となったオーストリア国ベルンドルフ市姉妹都市締結記念事業として、当協会の矢羽々文一郎隊長(盛岡山岳会 32)、矢羽々昭夫副隊長(盛岡山岳会 32)、菊地繁人(大迫山岳会 35)、伊藤寿(高体連 34)、村上毅(裏岩手山岳会 30)、出堀宏明(盛岡山想会 29)、斎藤新悦(盛岡山想会 28)、佐藤時雄(水沢山岳会 27)、黒川富也(釜石岳友会 26)、伊藤恒延(盛岡山岳会 23)の 10 名の隊員が岩手県山岳協会の日本・オーストリア親善登山隊として派遣された。

一行はシベリア経由で全日程約 50 日間、アルピニストの憧れの地ヨーロッパアルプスでオーストリアの最高峰グロースグロックナー(3,798m)をはじめ 4 山を極めるとともに、ベルンドルフ市民をはじめオーストリア各地で親善交流を深めるなどして多くの成果を上げて帰国しました。当時を振り返り、「ベルンドルフの人々との交流 50 年の断想」の一部を掲載します。「50 年前、山の神の思し召しと采配があったのではないか、と思われるような国際姉妹都市の誕生があった。地球上には、アルプスに世界的名花といわれるエーデルワイスと、はるか東洋のこなた早池峰山に、双子の姉妹のようなハヤチネウスユキソウが自生している。それが、悠久のときを経て、姉妹として親交を誓い合うことになった。

ことのはじまりは、大迫町の村田柴太町長さんと、いわての山男たちとの、お神酒を交わしての気のおけないホラ語りであった。‥‥〈略〉‥‥「双子の姉妹を逢わせてやりたいもんだ」と山男たちの夢物語りが出た。」‥‥‥。この事業の成功は、ベルンドルフ市と大迫町との友好親善、協会の結束を更に強め、45 年岩手国体の成功、その後の協会発展の礎となった。記事は、矢羽々昭夫氏の著書「ベルンドルフの人々との交流 50 年の断想」より掲載させて頂きました。数値は当時の年齢

選手強化募金へのご協力ありがとうございます。総額 420、000 円の熱い応援に感謝

加盟団体や会員の皆さんに毎年お願いしています国体や国際大会に向けた選手強化募金は、今年も加盟等 14 団体、31 名の個人の皆さま方々からお寄せ頂きました。心から御礼申し上げます。皆さんから寄せられましたご芳志は、愛媛国体等を中心に

選手強化や激励金として有効に使用させて頂きました。山岳岩手の伝統は、選手の活躍は勿論ですが、皆様からの温かい支援があってのことです。

国体募金協力者(平成29年11月10日現在)

団体　都南山岳会、盛岡山岳会、矢巾町山岳協会、花巻市山岳協会、滝沢市山岳協会、早池峰山岳会、ハイエストカンパニー、翌檜山岳会、福岡山好会、盛岡山想会、八幡平市山岳協会、ＪＲ盛岡山岳会、矢巾山好会、登山普及部

個人　武田勝栄(巌鷲山岳会)、村上良則(都南山岳会)、中道政春(翌檜山岳会)、角掛喜美夫(滝沢市山岳協会)、村上伸男(翌檜山岳会)、山平禎二(高体連)、矢羽々文一郎(盛岡山岳会)、熊谷浩志(盛岡山岳会)、波岡　浩(巌鷲山岳会)、西館正治(岩手アルペンローズ)、滝田　章(悠々山の会)、千葉真英(高体連)、佐藤安美(和賀町山岳会)、出堀宏明(盛岡山想会)、鈴木主計(早池峰山岳会)、山口吉男(滝沢市山岳協会)、國本旗男(盛岡山想会)、高橋和夫(盛岡山岳会)、佐々木忠夫(巌鷲山岳会)、遠藤政一(和賀町山岳会)、矢羽々昭夫(盛岡山岳会)、高橋時夫(翌檜山岳会)、遠藤敏英(矢巾山好会)、岩澤健二(高体連)、川村芳征(盛岡ＲＣＣ)、植田瑞穂(巌鷲山岳会)、佐藤　誠(都南山岳会)、瀬川幸三((盛岡山想会)、 杉山健太郎(悠々山の会、)、伊藤信男(岩手アルペンローズ)、及川憲一(和賀町山岳会)　順不同敬称略

※　選手強化募金は、現在も行っています。事務局へご一報等よろしくご協力をお願いします。

釜石山岳協会60周年を祝う。

釜石山岳協会六十周年記念式典・祝賀会が11月25日　(土)午後６時から来賓の野田釜石市長、当協会の吉田春彦副会長はじめ加盟のアトラス山岳会、釜石岳友会、シャモニー山岳同人の皆様方６６名の参加者のもと盛会に開催されました。記念式典では、記念撮影、物故者への黙とうを行いました。菅原長一郎会長は、挨拶で創立以来多くの事業を成し遂げてきた先輩たちへの感謝と三団体の協力体制により震災後も活動を続けてこられたことへの感謝の言葉があり、これからも釜石山岳協会が活動を続けていく決意が述べられました。功労者表彰ののち野田釜石市長からは五葉山の山開きや市民登山の活動に対する御礼とますますの活躍を祈る言葉がありました。

菅原長一郎会長の挨拶

釜石山岳協会は、これまで沿岸部の中心的山岳団体として北アルプスや県内の山々は勿論海外登山の実施等活発に活動してきました。現在も、ホームゲレンデである五葉山等を中心に活動を展開しています。

当協会の運営にも多くの足跡を残し、五葉山での県民体育大会の開催をはじめ役員の派遣、近年は岩手山八合目避難小屋管理や山の日制定登山の実施等岩手県山岳協会を支えていただいているなど、幅広く活動されています。益々の充実発展を祈念いたします。

「ジュニア登山教室　in 岩手山2017」報告書

恒例のジュニア登山教室が8月4日(金)と5日(土)の二日間、岩手山馬返しコースで実施されました。今年の参加者は、子供20名、父兄11名、スタッフが10名。当日は朝から快晴。馬返し登山口から見る岩手山は、雲一つなく子供達を歓迎してくれているかの雰囲気。この晴天で気になっていた気温も盛岡市で最高気温が25.8度。この時期としては好条件のなかの登山教室となりました。

開講式では高橋時夫県山協会長の挨拶、佐藤幸治チーフリーダーから当日の注意事項等の伝達。

入念に準備体操を行い8時過ぎに保護者を2班、子供を3班に分けて出発。子供達の75%がジュニア登山の経験者。順調に標高を稼ぎます。6合目を過ぎても低学年（小学校1,2年）の子供達の視界には父兄の姿が見えます。

ほぼ4時間40分で8合目避難小屋に全員到着。8合目避難小屋に低学年の班が到着すると、上級生と保護者がアーチを作ってのお出迎え。8合目避難小屋では今回初の試みとして事前に参加者が寝る場所を割当、名札を貼り付けておきました。このことにより、小屋到着時の混雑混乱を回避できました。

当日の小屋管理人の川越さん、ご協力ありがとうございまし

た。小休止後に予定どおりに山頂に向けて出発。小屋で荷を軽くしたせいか小屋でテンションが上がったせいか子供達の足取りは今までのそれとは全く違ってきました。山頂では全員で記念写真。みんな良い顔をしています。

この日、初めて岩手山に登った子は一生の思い出になったことと思います。

翌日は雲海が広がっており残念ながらご来光は拝めず。子供達は小屋の作業のお手伝い。トイレ掃除等いろいろな作業を頑張ってもらいました。

下山は 7 合目から新道を通りました。小さい低学年には大変な段差は辛そうですが、ゆっくりとゆっくりと安全第一にクリア。馬返し登山口に 11 時 50 分に下山完了。　前日より気温が上がったためか、下山後に頂いたアイスクリームが一層美味しく感じられました。その後、閉講式を行い解散。閉講式終了後に、スタッフで反省点を話し合いました。反省点は来年以降に活かして、更に質の高いジュニア登山教室にしていかなければと思いました。　　登山普及部

第 7 回岩手県高校生クライミング大会

10 月 22 日(日)、秋雨が降る中、7 回目を迎えた岩手県高校生クライミング選手権大会が、12 月 23 日、24 日に埼玉県加須市で開催される第 8 回全国高等学校選抜クライミング選手権大会の予選会を兼ねて運動公園リード壁で開催されました。大会は、男子は岩手高校の昆野玲士選手が 1 位、米倉司哲選手が 2 位、佐々木眞隆選手が 3 位、女子は、盛岡一高の田中里旺選手が 1 位、2 位は盛岡南の西珠莉亜選手、3 位に盛岡一高の西森優選手の各選手が入りました。全国大会には、すでに日山協推薦枠で出場が決まっている中島大智(盛岡南)と田中里旺(盛岡一高)の両選手に加えて、男子は、岩手高校の昆野玲士、米倉司哲、盛岡南の西珠莉亜、盛岡一高の西森優の各選手が出場します。学校対抗は、男子岩手高校、女子盛岡一高が県代表としての出場権を獲得しました。上位入賞を期待したいと思います。

岩手県高等学校新人登山大会

今年度の高校新人登山大会は、10 月 6 日(金)から 8 日(日)の三日間、雫石町の黒倉山を中心に開催されました。来年の高体連の前哨戦ともなる大会で男子が 12 校、女子が 7 校出場し、第一日目は、網張スキー場から犬倉山までの体力、天気図作成等の競技、二日目は、小雨模様で肌寒い気象条件の中、黒倉山までの間で体力、歩行、チームワーク等の項目で競技会おこなわれ、男子は、盛岡工業が 26 年ぶり 5 回目の優勝。女子は、盛岡一高が 2 年ぶり 5 回目の優秀を収めました。

3 位までの成績は、**男子団体**　優勝　盛岡工業 98.4 点(菊地然、佐々木大輔、渡邊佳辰、吉田凛来)、第 2 位　97.1 点岩手高校(昆野玲士、門舛銀河、菊池誠、米倉司哲、第 3 位 96.8 点盛岡一高(伊藤大成、佐々木眞隆、片伯部遼太、小松夕葵)、

女子団体は、優勝　盛岡一高、98.0 点(西森優、愛木伶依、山本花、山下ちひろ)、第 2 位 91.4 点盛岡南(赤間海紗縞、伊藤みなと、高橋彩佳、亀山咲紀)、第 3 位 56.9 点、盛岡農業(千葉純音、阿部夏空、小林幸来乃、宮　花実)、

男子チーム対抗　優勝　岩手高校 C1　96.9 点(佐藤知真、菊池誠、三上和稀、一戸　藍)、第 2 位盛岡工業C1　90.9 点(堀口剛弘、土室翔也、菊池広大、阿部友明)、第 3 位盛岡農業C2　90.7 点(高杉優希、吉田洸希、花輪優希、千葉勇大)、

女子チーム対抗　第 1 位　盛岡南B2　89.6 点(三浦早紀、鷹嘴陽夏、西珠莉亜、沼田涼華)

第 15 回岩手県ボルダリング大会

11 月 5 日(日)第 15 回を迎えた岩手県ボルダリング大会**IWATE SESSION2017**(協賛：ICI 石井スポーツ・しまざき歯科医院)が県営運動公園「ボルダリングルーム」でセッター石松大晟(ペースキャンプ)を迎えて開催されました。大会には、今年最後の本格的なコンペということもあって県内を中心に東京、秋田、青森、宮城等から 139 名の選手がエントリーし、ジュニア、ビギナー、ミドル、マスター、オープンの部門で 14 手が課題に挑戦しました。また、今回初めて一般山岳会の翌檜山岳会から 2 人の山男たちが出場し異彩をはなった。各部門別三位までの入賞者は下記のとおりです。

部門	区分	1位	2位	3位
ジュニア高校生以下	男子	平瀬太誠(山目小)	廣田一航(黒北小)	小野真悟(厨川小)
	女子	今野桜空(青生小)	亀田ルカ(岩崎小)	西田杷花(城北小)
ビギナー高校生以下	男子	稲邑悠人(金ヶ崎中)	石川詳(盛岡農)	木村大成(岩手高) 小熊虎泰、中嶌晟太
	女子	佐々木彩良(和賀東中)	西珠莉亜(盛岡南)	樋口風花(盛岡一)
			伊藤みなと(盛岡南) 沼田涼華(盛岡南)	
ビギナー一般	男子	古川工(翌檜)	高橋伸也(翌檜)	
	女子	吉田美由紀(盛岡市)	川村美沙樹(矢巾町)	
ミドル一般	男子	梁田睦(盛岡市)	小川裕一(滝沢市)	似内龍次(盛岡市)
ミドル高	男子	安達凪	中澤大翔	本明佳

校生以下		(下ノ橋中)	(盛岡南)	(佐倉河小)
	女子	佐藤　歌 (横手北中)	大湯凛 (河南中)	三角唯香 (厨川中)
マスター一般	男子	今井亮平 (弘前市)	久保田亮 (矢巾町)	三上帝史 (盛岡市)
	女子	熊谷彩芳 (矢巾町)	近藤圭 (秋田市)	田村妙子 (仙北市)
マスター高校生以下	男子	大賀羽玖 (和賀東中)	菅原一柊 (飯島中)	米倉司哲 (岩手高)
	女子	工藤朝花 (城西中)	関川愛音 (八戸湊小)	
オープン一般	男子	山内響 (神奈川県)	昆脩太 (盛岡市)	藤原祐樹 (東京都)
オープン高校生以下	男子	石嶋魁人 (盛岡南)	浅石颯汰 (盛岡北)	似内舜明 (厨川中)

2017 サマーセッション(リード大会) 開催

8月27日(日)、若手現役世代が中心となって開催した2017サマーセッションは、ジュニアからマスターまでの67選手が出場して盛会に開催されました。セッターを務めた昆脩太君をはじめ若い世代のパワーにこれからも期待したいと思います。来年もよろしく。部門別入賞者は次のとおり。

部門	区分	1位	2位	3位
ジュニア	男子	廣田一航 (黒北小3)	照井仁知翔 (上平沢小)	佐々木音和 (柿沢第二) 日野圓志朗 (川井小)
ビギナー高校生以下	男子	溝口陽人 (盛農)	似内怜哉 (青山小)	高橋駿斗 (盛農)
	女子	日野愛花 (川井中　)	西珠莉亜 (盛南)	沼田涼華 (盛南)
ビギナー一般	女子	吉田明美 (盛岡市)	吉田美由紀 (盛岡市)	
ミドル一般	男子	本明智尚	吉田秀樹	三角浩司
ミドル高校生以下	男子	大賀羽玖 (和賀東中)	浅石絢平 (厨川中) 田口博翔	伊藤鉄郎 (盛農) (盛岡南)
	女子	小川空 (滝沢中)	大湯　凛 (河南中)	三角唯香 (厨川中)
マスター一般	男子	目黒雄也 (福島県)	長谷川健太 (盛岡)	岩井花達也 三上誉人
マスター高校生以下	男子	似内舜明 (厨川中)	本明優哉 (水沢中)	舘岡　瑛 (盛岡南)
	女子	工藤朝花(城西中)		

「日本の名峰登山2017」

平標山、苗場山、弥彦山　8月31日（木）～9月3日

8月31日（木）　くもり

滝沢市役所を予定通り20：00に出発する。次の集合場所の盛岡駅西口のマリオス前で参加者8名が乗車。県山協高橋時夫会長の挨拶と見送りを受け、盛岡南ＩＣに向かう。途中、花巻南ＩＣで6名、北上江釣子ＩＣで4名の参加者を乗せ一路最初の登山であるの平標山の登山口を目指す。

9月1日（金）　くもり～晴れ

04：20　塩沢石打ＳＡを出発。今回の「日本の名峰登山2017」の開講式（登山日程の説明とスッタフの紹介）を行う。

湯沢ＩＣを出て一般道へ。05：44　湯沢町平標山登山口着。出発準備をする。05：59　湯沢町平標山登山口を出発する。トイレ脇の登山口を通って山道へ。少し登ると舗装道路に出る。少し進んでここからが本格的な登山道となる。入り口には、「この付近にクマ出没注意必要」の立て札と、「告　トレイルランナーの方・植物の保護・登山者の安全確保・登山道維持のため、走りを自粛してください。」の二つの立て札が立ててある。登山

道は、横木の階段で思ったより急登である。06:34　急登から平らな山道へ、休憩を取り出発。また登りとなる。高圧線鉄塔の下を通り、08：07　松手山（1614m）三等三角点を通り、09：38　平標山（1,984m）頂上着（3 班が先頭）。頂上からは360

度視界が開け、明日登る苗場山や、平標山から尾根続きの谷川岳などが見え、時間があれば尾根伝いに歩いてみたいものだと思う。

10：06　平標山頂上出発。平標山乃家方面へ。見晴らしの良い

下り道で暖かく時折吹く風が気持ち良い。10：40　平標山乃家着。10：49　平標山乃家発。下山の途中の 11：38　鋼管ボッカの人とすれ違う。11：53　水場（上：林道手前）。12：31　鍵付きのゲートを通過。すぐ横に水場があり結構な量の水が出ていた。12：58　最後尾登山口着。13：35　14：17 道の駅「みつまた」着。14：29 貸切バスから 4 台のタクシーに乗りかえて和田小屋へと出発する。14：52　和田小屋に先頭のタクシーが到着。次々と後の 3 台も到着。18：00　夕食開始。和田小屋は車が来る小屋のため食材には困らないであろうと思われた。19：00 過ぎには寝ている人が多く、翌日は早めの起床・出発となるので、消灯とする。

９月２日（土）　くもり～晴れ

03：50　起床。早めの起床となり、朝食を待ちながらお茶をいただく。04：00　朝食。弁当をいただき出発準備をする。早朝のためヘットランプ準備での出発となる。04：33　和田小屋先頭出発。ヘッドランプをたよりに登山道を登る。05：16　6 合目通過　少しずつ夜が明け始める。05：30　夜が明け、ヘットランプが不要となる。登りから平らになったところで下ノ芝。05:54　下ノ芝に最後尾到着。05:58　1・2 班は下ノ芝発。　06:40　最後尾が中ノ芝到着。07：03　碑（顕彩の碑）。　07：08　天下の霊観通過。07：23　神楽ヶ峰（8 合目）。ここから下りになる。07：37　富士見坂。名前からすると富士山が見える場所かもしれない。07：41 雷清水。下りの途中で、おいしそうな水が流れ出ている。冷たくおいしい水である。

07：47　お花畑。坂を下って平らになった場所がお花畑であった。お花畑を過ぎるとまた上り坂であり、平標山から見えた登りのきつそうな坂となった。08：02　9 合目。08：13　雲尾坂。坂を過ぎると木道となり高層湿原が広がった。08：41　苗場山（2,145m）頂上着。到着の班ごとに記念写真を撮影する。

08:50　苗場山頂ヒュッテ着。ベランダで昼食を食べる。

09:17　苗場山頂ヒュッテ発。木道は高層湿原を横断するように続いていく。天気も良く時間があれば少し休んでいきたいような状況ではあるが、時間的余裕もないので歩みを進める。

苗場山ヒュッテ高層湿原を行く（下山）09：57　8 合目高層湿原とも別れ下り坂に入る。11：49　3 合目。11：50　小赤沢 3 合目登山口着。11：58　3 合目発。12：18　沢への下り坂。傾斜がきつくロープがついている。降りるとすぐに丸木橋。12：32　「苗場山登山道 3 合目ルート入口」の標識。12：33　舗装路へ。12：36　大瀬の滝。時間がないので道路から望む程度とする。12：38　1 合目（標高 940m）。12：38　諏訪神社。12：55　バス路線の道路も出る。（先頭の 3 班）。12：56　小赤沢バス停。13：03　目的地の小赤沢入口バス停　待合所に到着。路線バスの到着予定時刻まであまりないので大丈夫かと心配する。13：10　全員が小赤沢入口バス停に到着する。奇跡的？としか言いようのない状況で驚く。後で聞くところによると、「走れ！との号令」で頑張って走ったとか？。　13：13　路線バスが予定通り到着。全員乗車し半数弱しか座れず。13：48　見玉停留所にて下車。貸切バスに乗りかえる。（小赤沢入口バス停から見玉停留所までは細い道があり大型の貸切バスは入れないため。苗場山の下山路は思ったより大変であった。特に 7 合目から下は大変であった。 4 合目あたりからは少し楽になったが。16：00　燕三条地場産業振興センター着。16：45　ホテルルートイン燕三条駅前着（宿泊）ホテルはすぐ近くで、一人部屋でゆったりできた。

９月３日（日）　晴れ

07：46　弥彦山登山口（最後尾）通過。07：47　一人一石運動用の小石袋置き場。 7 合目に置く場所があるとのことである。07：49　鳥居（石の鳥居）をくぐり少し歩くと右手に「弥彦山登山茶屋」というとても趣のある建物があった。登山道はジグザクになっており、結構な上り坂である。08：01　1 合目。登山口から運んで来た石は 7 合目の手前に置く所があった。08：

弥彦山（弥彦神社）頂上にて

47　7 合目。7 合目の所に水場があり、おいしい水を思いっきり頂く。 8 合目を少し登ったところで南側に街や水田を見渡せるところがあった。ロープウェイの駅側と弥彦山（神社）への分岐である。09：03　9 合目。 9 合目にベンチがあり霞んでいるが佐渡ヶ島が見えていた。09：15　弥彦山（634m）頂上着。弥彦山頂上は弥彦神社であった。山頂である弥彦神社をバックに記念写真を撮る。　09：30　弥彦山頂上発。09：41　ロープウ

ェイ駅 13：10　巻潟東ＩＣ。19：44　滝沢市役所着　予定より早い到着であった。今回の登山は天候にも恵まれ、怪我もなく参加者全員無事岩手に帰ることができ良かったと思う。特にも苗場山の下山の奇跡的なスピードは参加者の日頃のトレーニングの賜物と思われる。今回の山行も、参加者全員満足のいく山行であった。　記録 盛合敏男

東北総体ブロック会議兼日山協審判員研修会

今年のブロック会議兼研修会は、11 月 25 日(土)と 26 日(日)の二日間、宮城岳連担当で仙台市において開催されました。ブロック会議には本県の高橋会長、小山副会長、植田、佐藤両副理事長をはじめ東北六県の会長、事務局長、理事長等 14 名、C級審判員研修に本県の藤原拓、中島隆之、土井祐之各氏をはじめ 28 名、運営委員研修会には宮城岳連の 17 名が受講。ブロック会議は、今年の秋田市での東北総合体育大会の運営、結果報告。大雨でリード競技を中止せざるを得なかったこと。中止決定過程での審判団と中央総務の連携の重要性等が指摘された。来年の東北総体は仙台市(リード)と加美町(ボルダリング)での分散開催となったこと。福島、岩手からブロック会議の在り方について、内容の充実、現場担当者の出席の必要性が力説され、来年度開催県から反映していくこととなった。本県から東北地区のスポーツクライミング大会の開催等競技力向上の必要性を提言した。来年度岩手県で予定している大会への協力と企画の具体化について理解を頂いた。併せて、東京オリンピック関連で 2019 年 4 盛岡へのアジア大会招致について支援、協力要請を行った。会議は那須での高校生の雪崩遭難事故と今後の高校生の冬山登山も話題となった。議論の中で高校生の冬山登山の在り方については、東北の置かれている自然環境からみて雪山体験は高校生にとって貴重な体験であり、一律禁止として片づけることはできないこと。その必要性を日山協、関係機関に働きかけていく必要があることが話された。併せて、雪山での講習会等高体連への技術支援について岳連、協会として高体連の意向を確認しながら積極的に協力連携していく必要性を確認した。

スピード施設建設始まる。

2020 東京オリンピックの種目の一つとして注目を集めているスピード種目の建設が来年3月完成を目指して、盛岡市の県営運動公園のリード施設の隣で始まりました。現在整備されているボルダリング、リード種目とあわせて 3 種目のわが国でも数少ない本格的な施設が揃います。今後、オリンピック強化選手、海外選手の合宿、コンバインド(複合)競技会場として各種大会の開催が可能となります。

協会では、早速、来春、全国規模の大会開催に向けて検討に入っています。また、国際大会の招致にも、岩手県、盛岡市の指導支援を頂きながら取り組んでいきます。

スピード競技は、概ね垂直な 15m の壁に設置されている国際基準で決められたホールドを使って、いかに早く登るかを競う競技で、ロシアやヨーロッパの選手が得意とする種目です。ワールドカップでは、6 秒台が世界記録とされています。

祝日「山の日」制定記念事業の状況

山の日制定記念事業につきましては、7 月 1 日の鈴木大地スポーツ庁長官と岩泉町バレースポーツ少年団、八幡平市の子供達や1000 人を超える多くの登山者との山の日制定記念岩手山山開きコラボ登山から始まり、次のイベントを実施し予定通り終わることができました。加盟団体の皆さん、スタッフの皆さんご協力有難うございました。(登山普及部)

祝日「山の日」記念イベントⅡ　地域住民との交流

実施団体　久慈市山岳協会、八幡平市山岳協会、都南山岳会矢巾山好会、滝沢市山岳協会、翌檜山岳会、和賀町山岳会、釜石山岳協会、盛岡市山岳協会の 9 団体、206 人。

祝日「山の日」記念イベントⅢ岩手山毛布荷上げ登山

協力団体　岩手アルペンローズ、滝沢市山岳協会、北上山岳会、翌檜山岳会、巌鷲山岳会の 5 団体、荷上げ数量 33 パック。
(10 月 30 日現在)

毛布荷上げ登山は、方法を再検討して来年度も引き続き実施の予定です。ご協力をお願いします。

岩手山八合目避難小屋冬期管理へ移行

岩手山八合目避難小屋が 10 月 22 日(日)をもって冬期小屋へ切替えとなりました。

冬期間の利用にあたっては、避難小屋北側が出入口となります。ストーブも撤去しています。炊飯等ガスコンロの使用にあたっては、指定の場所で使用し火気にはくれぐれも注意して下さい。冬ごもり切替作業に協力頂いた団体　翌檜山岳会、滝沢市山協、盛岡 RCC、巌鷲山岳会、福岡山好会、岩手アルペンローズ、ハイエストカンパニー、都南山岳会、登山普及部 22 名でした。

協会法人化検討委員会報告

当協会の法人化に関する検討につきましては、2 月の定期総会で本年度の活動方針の柱の一つとして位置付けて、県体協鈴木清也事務局長をはじめ、5 人の方々に検討委員をお願いし調査検討を行ってきました。検討委員会は、これまで 5 月から 4 回開催し、11 月 20 日の第 4 回検討委員会で、方向性を確認してとりまとめを行いました。この間、3 回の部長会、2 回の常任理事会での集中審議を行ってきました。今月 20 日には、先進事例研修として 2 年前に一般社団法人に移行した(一社)岩手県バスケットボール協会吉田敏男

事務局長を講師に迎えて研修会を開催するなどスポーツ団体として法人化の目指す目的、必要性のお話を聞くなど検討を重ねてきました。

基本的には、現在の岩手県山岳協会の事業内容、財政規模等を鑑みて、更にはスポーツ団体としてのガバナンス、財務執行体制の確立、透明性の確保、加盟団体との連携強化、更にはスポーツ団体に求められているコンプライアンス等総合的にみて協会の法人化は避けて通れない喫緊の課題であることが確認されました。

現在、定款、組織体制、移行に際しての手順等の細部の検討を行っています。なお、加盟団体との関係については基本的には従前通りですが、加盟団体、関係団体等への説明を行い、理解を深めて頂くとともに共通理解のもとに最終的な方向性の確認を行いながら慎重に対処していかなければなりません。

現在、日山協加盟団体で、法人化団体は、東京都岳連が公益社団法人、大阪府岳連と広島岳連が一般社団法人へ移行しています。ちなみに、岳連(協会)の名称変更については、鹿児島岳連と山口岳連が、日山協と同じく山岳・スポーツクライミング連盟(協会)に移行しています。なお、2019年度茨城国体から現在の国体山岳競技が、スポーツクライミング競技に、また、(公財)日本体育協会が(公財)日本スポーツ協会に来年４月１日から名称変更されます。

秋季親子キッズクライミング・ボルダリングスクール開催

今年のキッズ対象のクライミングスクールが 11 月 11 日(土)、12 日(日)、19 日(日)の三日間、盛岡市内の小学３年生を対象に県営運動公園で開催されました。市内の小学校から 170 名の子供たちが参加。4 つのグループに分かれてボルダリングとリードを体験しました。

秋季スクールとはいえ、今年の冬の到来は早く、三日間とも冷え込みの厳しい中、屋外の会場には、ストーブを持ち込んでの体験。リード会場では時折、吹雪模様となるなど、寒さとの闘い。それでも子供たちは小雪舞い散る中、歓声を上げて垂直の壁に果敢に挑戦していました。三日間元気に親子でクライミングを体験してもらいました。今回は、盛岡市内の小学 3 年生のみ対象の体験会でしたが、今後、県内を対象とした体験教室となると何百人集まるか予想もできないクライミング人気を会場に見た感じです。今回、運営をサポートして頂いた岩手高校山岳部の皆さん協力ありがとうございます。

厳冬期冬山講習会開催の案内

平成30年度の冬山講習会は、2月10日(土)と11日(日)の二日間、三ツ石山、大深岳、源太ゲ岳の周回コースで実施します。9 時から八幡平市松川温泉駐車場で開講式。当日は、三ツ石山荘泊。二日目は大深岳、源太ゲ岳経由で松川温泉に14時30分下山。この間、山スキー、読図、生活技術、耐寒訓練、凍傷対策、なだれ遭難対策等の実技講習及び指導員の指導法研修が行われます。装備は、山スキー、ピッケル、アイゼン、ツェルト等冬山装備一式、一泊二日の食料、非常食持参。参加料1,000円。**申込照会先は、土井祐之指導部長　北上市上野町１丁目29-8℡、FAX は、0197-64-1842 申込期限 平成30年2月1日(木)**。

参加に際しては、山岳保険に加入していること。指導員は、義務研修の一つですので、指導、研修実績として下さい。

なお、厳冬期ですので初心者は参加できません。

詳しくは、土井指導部長へお願いします。

指導員インドア研修会兼新年会の開催案内

恒例の標記研修会を、山岳指導員として高所登山の実状を把握し論理的な研修を行うとともに、相互の交流を深め指導員としての資質を高めることを目的として下記により実施いたします。指導員会員以外での参加も歓迎します。

期日　平成３０年１月２７日（土）～２８日（日）

会場　「 平庭山荘 」　久慈市 山形町来内２０－１３－１
Tel　0194-７２－２７００

日程　１日目　15：00～15：30　受付　平庭山荘、15：30～15：40　開会行事 15：40～17：10　机上研修
18：30～20：30　夕食・交流会
２日目 7:00～ 朝食、8:30 解散

今回は実践研修登山はなし

講義　「高所登山等」について」

講師　中島　健郎 氏　山岳ガイド・山岳カメラマン

参加費７，０００円（１泊２食・受講料）

申込・連絡先　村上伸男　平成３０年１月１５日（金）
〒028-7544　八幡平市保戸坂 81-5
Tel/fax　0195-72-5852　携帯　080-1679-0209
職場八幡平市立畑コミュニティセンターTel/fax
0195-72-5357　ﾒｰﾙ　nobuo@hata.comisen.net

＊指導員の義務研修です、資格更新の実績になりますのでぜひ出席してください。

県山協指導員会冬山合宿計画書(八ケ岳)

アルパインクライミングの技術・総合力を高めるとともに、岩手県山岳協会指導員会の構成団体の交流を図る目的で、平成30年1月5日(金)～8日(月)＜3泊4日(車中泊1日含む)の4日間で開催。程

1日目 1月5日(金)移動日、2日目 1月6日(土)10:00赤岳鉱泉BC → 登攀訓練→ 赤岳鉱泉BC 3日目 1月7日(日) 赤岳鉱泉発 →登攀訓練→ 赤岳鉱泉BC 4日目 1月8日(月) 帰省日

○個人装備 登山靴、靴下、下着(上下)、冬用アウター(上下)、帽子、目出帽、ゴーグル、サングラス、防寒着、手袋(替え)、アイゼン、ピッケル、バイル、ハーネス、スリング(8)、スクリュー(5)、ヘルメット、カラビナ

○共同装備 制動器、テルモス、ビーコン、ゾンデ、スコップ、シュラフ、マット、食器、行動食4日分、トレペ、ヘッドランプ、地図、磁石、時計、マッチ、筆記具、保険証写し、時計、非常食、携帯電話等 共同装備 ザイル(8mm×50m)、ハーケン数本、スクリュー10本、ツエルト(2)、ガスヘッド、(2)、ガスボンベ(4)、コッヘル、調理具、食料4日分 (※数量については参加者数により調整する。)。

○ 登攀対象ルート 大同心大滝 大同心南壁 中山尾根 赤岳西壁主稜 阿弥陀北西稜 等 ※参加者で協議の上決定する。

○ 申込み. 平成29年12月8日(金)まで土井祐之(北上山岳会)まで申し込んで下さい。 携帯電話 090-9535-3476 e-mail hiro.doi.722@docomo.ne.jp その他 ・山行中の事故は参加者個人が責任を負うものとする。 ・参加希望者は山岳保険に加入していること。 ・事前に登攀トレーニングを予定しています。日時等は参加希望者に連絡します。

○平成２９年度事業計画（１２月以降の計画です。）

※期日・場所等変更の場合があります。

12/2～3 初冬期講習会・研修会
H30 1/5～8 指導員会冬山合宿
1/27～28 指導員研修会 (机上技術理論等)
2/10～11 冬山講習会・研修会
4/7 指導員会総会

○連絡 平成２９年度会費（４，０００円）が未納の方は、下記口座へ送金願います。

日本郵政郵便振替
口座記号番号 ０２２６０－４ ５８６８２加入者名義 岩手県山岳協会指導員会

ご意見等は事務局までお願いします。

連絡先 盛合 (ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) moriai@amber.plala.or.jp
・(携帯) 090-9636-9888 〒027-0052 宮古市宮町3-5-33

※ 県山岳協会常任理事会動向

第６回常任理事会報告 (9月13日(水)

報告

(1) 日山協臨時理事会報告について
(2) 第2回評議員会の開催について
(3) 山の日夏山臨時診療所開設状況について
(4) 祝日「山の日」記念イベントⅡ
「みんなでふるさとの山を登ろう」地域住民との交流登山の実施状況
(5) 祝日「山の日」記念イベントⅢ岩手山荷上げ登山の実施状況
(6) 岩登り講習会兼指導員研修会について
(7) 沢登り講習会兼指導員研修会について
(8) 日本の名峰登山2017について
(9) 全日本登山大会北海道大会について
(10) ジュニア登山教室in岩手山2017について
(11) 山協ニュース201号の発行について
(12) IFSC世界ユーススポーツクライミング大会結果
(13) 第3回法人化検討委員会の開催について
(14) チーム岩手ヨーロッパ強化合宿について
(15) 岩手山八合目避難小屋管理状況について
(16) 第1回サマーセッションらボルダリングへ大会

協議事項

(1) スポーツクライミング国内、国際大会の招致について
(2) 日山協加盟団体の各種講習会と日山協加入施設賠償責任保険制度について
(3) 協会の法人化対応に係る検討について
(4) エベレスト＆ローツェ登頂記念報告会について
(5) 世界ユース、アジアユース、愛媛国体報告会の開催
(6) 第15回ボルダリング大会について
(7) 初冬期冬山講習会兼指導員研修会について
(8) 指導員会初冬期訓練会について
(9) 指導員会冬山合宿について
(10) 岩手山八合目避難小屋切り替え作業について
(11) 今後の選手強化日程について
(12) スピード施設の整備について
(13) 高校新人登山大会について
(14) 第7回岩手県高等学校クライミング選手権大会

第７回常任理事会報告 (11月22日(水))

報告

(1) 72回国民体育大会山岳競技結果について
(2) 高体連新人大会結果について
(3) 県スポーツ振興課スピード施設整備について
(4)岩手山八合目避難小屋常駐管理終了について

⑸ 第7回岩手県高校生クライミング大会結果について
⑹)第15回ボルダリング大会結果について
⑺ 国体、選手強化募金について
⑻ 八合目避難小屋毛布荷上げ、山の日啓発登山
⑼ 体育功労表彰、指導員、文化スポーツ表彰関係

協議事項

◆ 事務局

⑴ 世界ユース、アジアユース、愛媛国体報告会の開催
⑵)法人化検討委員会報告及び今後の対応について
⑶ 山協ニュース202号の発行について

◆ 競技運営部

⑴ 第15回クライミングビギナーズコンペ要項について
⑵ 指導員会県外研修会開催について

◆ 指導部

⑴ 冬山講習会兼指導員研修会について

◆ 登山普及部

⑴ 岩手山8合目避難小屋の冬期管理について
⑵ 今後の山の日制定記念事業への取組みについて

主な経過　　第5回常任理事会以降の動き　　8/25以降

8/25(金)　　中島大智、伊藤ふたば選手　谷藤盛岡市長表敬
8/27日(日)　第1回サマーセッションボルダリング大会
8/27(日)　　県山協臨時部長会　　盛岡
8/30(水)　　第3回法人化検討委員会　　盛岡
8/31(木)～3日(日)　日本の名峰登山　苗場山ほか
8月31日　　山協ニュース201号発行
9/3(日)　　日山協臨時理事会　　東京
9/7～10/10 岩手山八合目避難小屋常駐木～日と祝日へ移行
9/13(水)　第6回県山協常任理事会　　盛岡
9/14(水)　9月日山協常務理事会　　会長　　東京
9/29(金)　ICI荒川勉氏エベレスト、ローッエ登頂報告会盛岡
10/1(日)～3(火)　第72回国民体育大会愛媛大会　　西条市
10/6～10/8 高体連新人戦 網張スキー場から黒倉山
10/11(水)　県庁スポーツ振興課総括課長表敬　会長他
10/12(水)　10月日山協常務理事会　会長　　東京
10/21～10/22 岩手山八合目避難　冬小屋へ切替作業
10/23(土)　岩手県高校クライミング選手権大会　　盛岡
10/23(月)　カナダビクトリア市長懇談会　　盛岡
10/23(月)　国体少年女子チーム、知事優勝報告　　盛岡
10/25(日)　第5回部長会　　盛岡
10/28～11/8　伊藤ふたば選手ビクトリア市招へい合宿
11/5(日)　第15回ボルダリング大会　　盛岡
11/6(月)　11月日山協常務理事会　　会長　東京
11/8(水)　第4回法人化検討委員会兼法人化事例研修会
11/11(土)　ジュニア登山教室、
　　山小屋管理等意見交換会　　盛岡
11/11・12・19　ジュニア・クライミング教室　　盛岡
11/12(日)　日山協第3回理事会　　東京
11/14(火)　盛岡市役所スポーツ推進課要望　　盛岡
11/22(水)　第7回県山協常任理事会　　盛岡
11/25(土)　釜石市山岳協会創立60記念式典　　釜石
11/25～11/26　東北六県ブロック別研修会　　仙台
11/30(木)　　スピード施設整備、記念大会県協議　盛岡

今後の予定

11/30(木)　スピード競技施設県協議　　盛岡
11/30(木)　山協ニュース202号発行
12/12(火)　第8回常任理事会　　盛岡
12/14(木)　12月日山協常務理事会　　会長　東京
12/15(金)　県山協臨時部長会　　盛岡
12/16(土)　名誉会員、顧問懇談会　　盛岡
12/16(土)　インターハイ、国体報告会等報告会　盛岡
12/17(日)　日山協選手登録制度等選手説明会　　東京
12/下旬　　加盟団体会長、事務局長会議(予定)
12/24(日)　岩手県ビギナーズコンペ大迫大会
12/24(日)　全国高校選抜クライミング選手権大会　埼玉
1/14(日)　日山協新春懇談会　　東京
1/16(火)　部長会　　盛岡
1/19(金)　第1回常任理事会　　盛岡
1/24(水)　第1回評議員会　　盛岡
2/3(土)　　岩手県山岳協会定期総会　　盛岡

本格的な冬山シーズンに入ました。登山届を忘れずに！ 楽しい冬山登山を。

例年より早めの冬将軍の到来。いよいよ本格的な冬山シーズン。ワクワクするラッセル。アイゼンと氷のきしみ。冬山の厳しさにあこがれるシーズン到来。気候変動の激しい中、雪崩対策三点セットを持っても巻き込まれてからでは遅い。リングワンデリングにも注意。磁石と地図が基本。くれぐれも慎重に。